



田布施町 地震ハザードマップ (地域危険度マップ)

地域危険度マップは、地震により想定される建物被害の分布を表したものです。具体的には、裏面の「ゆれやすさマップ」で示した強さのゆれが起こった場合の、建物被害の程度(建物全壊率)を表しています。建物全壊率は、1辺約50mのメッシュ単位で分割した地域に建っている建物の中で何%の建物が全壊するかを示します。全壊率の数値が大きくなるほど建物が受ける被害が大きくなります。

地域危険度マップの作成方法

このマップは、おおよそ次のような手順で建物被害の程度(建物全壊率)を予測しています。

設定 町域の建物の分布状況を整理します。建物が全壊する可能性は建築年代や構造によって異なるため、建物分布は建築年と構造を区別して把握します。

計算 過去の地震被害記録から求められた震度と全壊率の関係から、各地域での全壊率を計算します。

「全壊」とは

全壊とは、自然災害による建物被害の程度の中で、最も大きく被害を受けた状態を示します。

① 外観による判定

建物の全体、もしくは一部の階がすべて倒壊している



② 傾斜による判定

外壁や柱の傾斜が1/20以上である



③ 屋根、壁(外壁)及び基礎による判定

基礎の損傷率が75%以上

④ 住宅の損害割合

屋根、壁(外壁)及び基礎の損傷程度など(及び傾斜)から算出した損害の割合が50%以上

あらかじめ記入し、家族みんなが分かる場所に置いておきましょう。

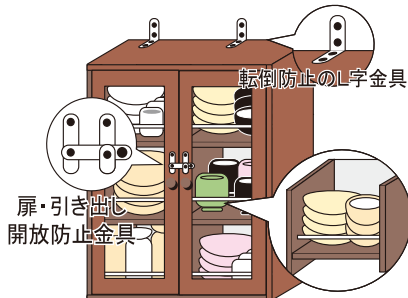
避難場所

家族が離ればなれになったときの集合場所

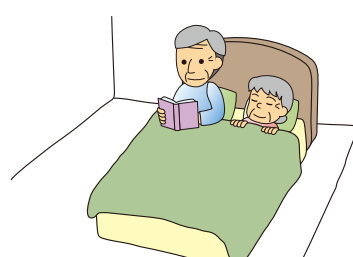
家の中を安全にしましょう

地震発生時、家具の転倒によってケガをしたり、避難経路がふさがれてしまったりすることがあります。家具の固定や置き方の工夫をしましょう。また、火災発生やガラスの破片など、二次的災害へも備えましょう。

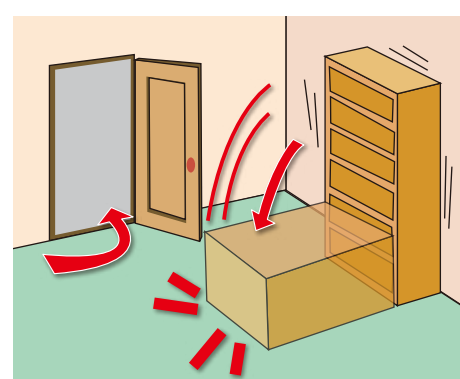
家具の転倒・落下を防ぐ



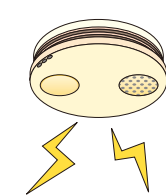
寝室、子どもやお年寄りのいる部屋には家具を置かない



安全に避難できるように、出入口にはものを置かない



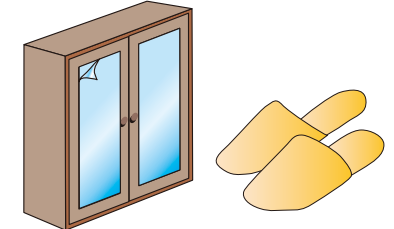
火災への備え



消火器や火災警報器、感震ブレーカー・コンセントの設置、地震保険への加入などをしておきましょう。

ガラスなどの飛散への備え

窓ガラスや食器類の破片対策として、飛散防止フィルム、スリッパの準備をしておきましょう。



避難場所や避難の際の注意について

■地震が起ったら

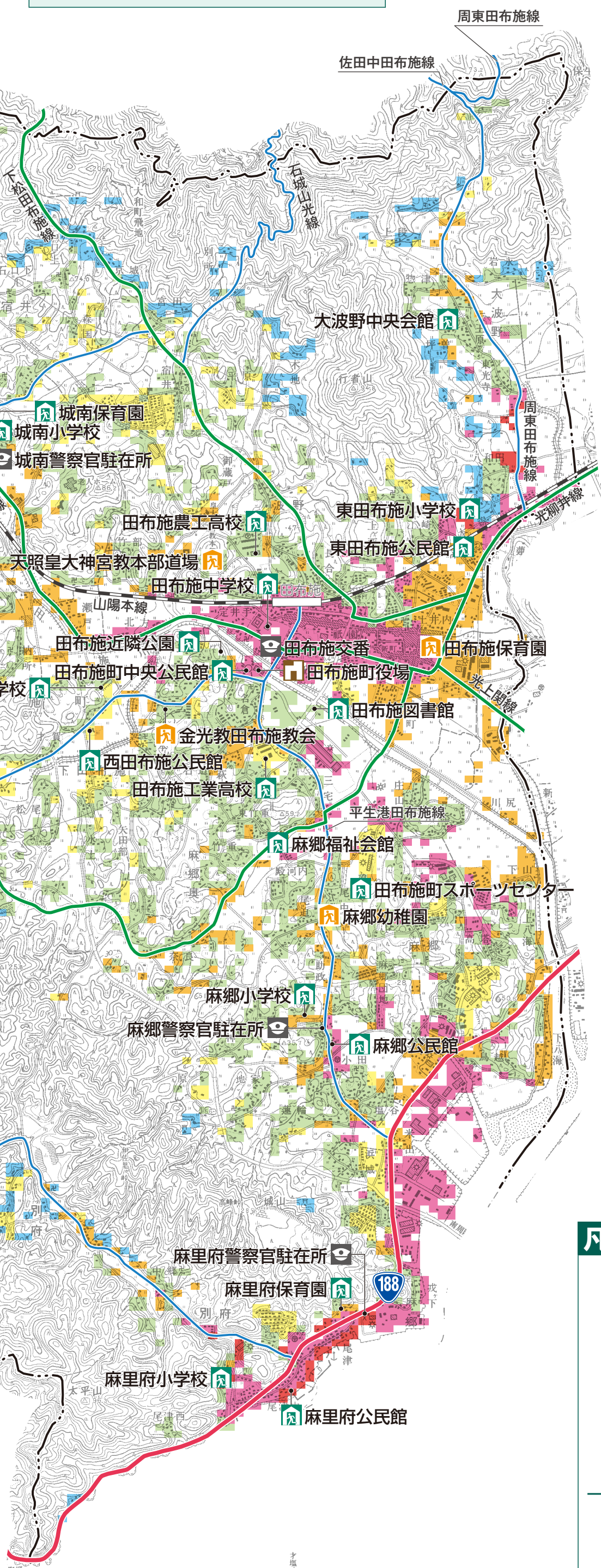
震災時にまず避難していただくのは学校運動場、公園や広場といった、家屋倒壊などの危険が少なく、多くの人が集まれる場所です。あらかじめ家族で避難する場所を話し合っておきましょう。

■避難場所

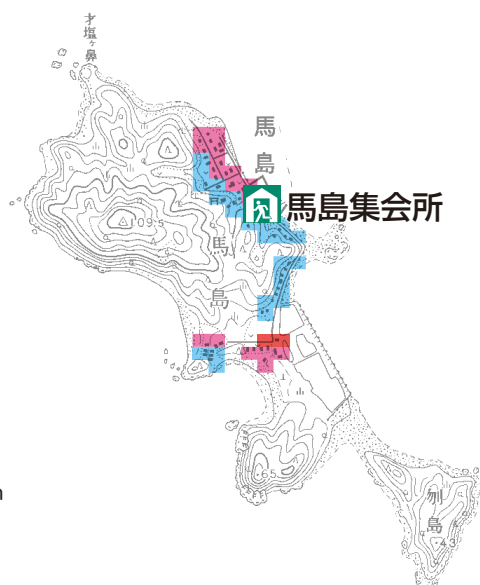
避難場所は避難生活の場所となる施設です。このマップには防災計画に掲げる公共、民間の避難場所を掲載していますが、震災が発生したときは、被災状況に応じて各避難場所の安全性を確認した後に開設することとなります。

■避難の際の注意

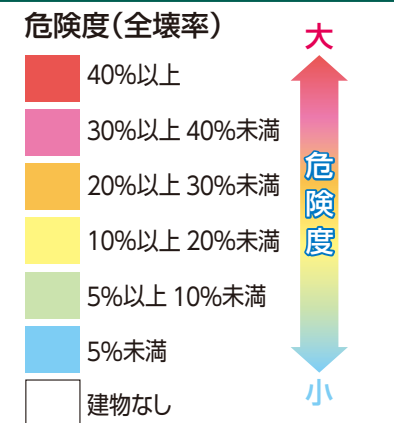
避難の際には、家屋の倒壊や火災の発生なども考えられますので、長袖シャツや長ズボンなどの服装が適しています。また避難時に役立つものをあらかじめ用意しておきましょう。



0 500 1,000m



凡例



平成22年7月現在



お問い合わせ先

田布施町 建設課

〒742-1592
山口県熊毛郡田布施町大字下田布施3440-1
TEL: 0820-52-5807 FAX: 0820-52-5968